

# メディカルガイド発刊に寄せて

苫小牧薬剤師会 会長 寺口 元

- ①かかりつけ薬剤師・薬局の普及・推進
- ②健康サポート薬局の普及・推進
- ③医療保険制度堅持の為への取り組み
- ④薬学教育への対応
- ⑤薬剤師のための生涯教育推進
- ⑥薬剤イベントモニタリングの実施
- ⑦アンチ・ドーピング活動の普及と  
スポーツファーマシストの養成
- ⑧地域医療における医療連携の強化と充実
- ⑨学校薬剤師活動の支援推進
- ⑩医療安全管理体制の整備・充実
- ⑪夜間・休日急病センターへの協力
- ⑫広域病院における処方箋FAXコーナーの運営
- ⑬災害備蓄医薬品の管理
- ⑭薬物乱用防止・野生大麻調査除去への協力

苫小牧薬剤師会は230名程度の会員が所属しています。薬剤師に求められている社会的役割はとも広く、薬剤師法の第一条では「薬剤師は調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとす。」と定められています。私達薬剤師は、地域住民の安心・安全を最優先とし調剤・医薬品の供給はもとより、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の理念に基づき地域社会づくりに全力をあげて貢献しております。この社会的理念の実現に向けた薬剤師会の取り組みとして左記の通り職能を全うする努力をしております。

私達には当然馴染み深い項目ですが、一般の皆様が私達薬剤師と接する機会が多い事柄についていくつか解説させていただきます。

## かかりつけ薬剤師・薬局の普及と健康サポート薬局について

かかりつけ薬剤師・薬局は患者さんが安全・安心に使用できるように、処方箋調剤を受けられる患者さん、在宅療養中の患者さんのサポートはもちろんのこと、市販薬に対するアドバイスや健康相談なども積極的に行ってまいります。患者さんに持参して頂いているおくすり手帳は自身の薬剤履歴管理の他、重複や相互作用による薬の飲み合わせや副作用防止にも役立っておりますがスマートフォンやタブレット端末で管理する電子おくすり手帳の普及にも取り組んでおります。自分の薬の管理はもちろんです。処方箋をカメラ撮影して薬局に送信しておけば患者さんの都合の良い時間にお薬を受け取ることが出来るようにもなりました。

健康サポート薬局は患者さんが安全・安心に使用できるように、処方箋調剤を受けられる患者さん、在宅療養中の患者さんのサポートはもちろんのこと、市販薬に対するアドバイスや健康相談なども積極的に行ってまいります。患者さんに持参して頂いているおくすり手帳は自身の薬剤履歴管理の他、重複や相互作用による薬の飲み合わせや副作用防止にも役立っておりますがスマートフォンやタブレット端末で管理する電子おくすり手帳の普及にも取り組んでおります。自分の薬の管理はもちろんです。処方箋をカメラ撮影して薬局に送信しておけば患者さんの都合の良い時間にお薬を受け取ることが出来るようにもなりました。

を進めていく中で厚労省が策定した「患者のための薬局ビジョン」の副題として「門前」から「かかりつけ」そして「地域」へと薬局の将来像として2025年までに全ての薬局が「かかりつけ薬局」として機能を持つことを目指し、住み慣れた地域社会において健康増進の核となる薬局の育成を進めているところです。



「地域包括ケアシステム」の構築